



# こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第370号

2018年6月25日

発行

日本共産党

ハ千代市議会議員団

ハ千代市大和田新田

312-5

## 米本団地自治会総会「特別決議」一小学校をなくすな

4月29日、米本団地自治会第49回定期総会が開催され、その中で米本団地自治会として「団地から学校をなくさないで」が団地住民の総意であると、「特別決議」を挙げました。

市教育委員会は、米本団地内の2校の小学校をなくして、現在の阿蘇中学校に小中一貫校をつくらうとしています。この方針に対して米本地域では、「団地の小学校の存続」を求め署名を2000筆以上集め、市長と教育長に要請してきました。

さらに昨年は米本自治会役員全員一致で「小学校をなくさせない」という決議を上げ、9月に市長交渉も行いました。しかし、市と教育委員会は小中一貫校構想を推し進めてきました。

## 市は米本団地住民の総意を真剣に受け止めよ

「特別決議」の内容は、「阿蘇・米本地域の小中一貫校（義務教育学校）構想は地域住民が要望したものではなく、米本団地からコミュニティの中心である2つの小学校を奪うものであり絶対に承服できない。構想を白紙に戻し、まちづくり計画について市と住民で真剣に話し合うこと」を市当局に要求するものです。

ハ千代市の地方創生プランでは、米本団地などの再生には、子どもたちや高齢者が安心して生活ができる場を提供するとしている。というなら、小学校の存続が不可欠です。

## 小学校をなくす計画を白紙に戻し再検討を

米本団地の住民は、団地再生のために子育て世代にも魅力的なまちづくりを目指して取り組んでいます。そのためには団地の小学校は不可欠であると主張しています。市長は「住民の声を大事にする」というなら、住民に寄り添った市政を行うべきです。

2月に行なった子育て世代への意識調査で出された、200項目以上の不安・疑問・質問が出されています。市当局は計画を白紙に戻し、小学校の存続とこれからのまちづくりについて地域の人たちと真剣に話し合うべきです。

